

区の政策を着実に継続・発展させ、区民生活をより豊かにする施策に更に力を入れていくため、令和6年3月に、区の政策展開を示した新たな総合計画として「第3次みどりの風吹くまちビジョン（以下、「第3次ビジョン」という。）」を策定しました。「第3次ビジョン」では、令和6年度から10年度までの区の実施計画を定めています。

令和6年能登半島地震で発生している被害

- 木造住宅密集地域での大火災
- 築年数の古い木造家屋の多数倒壊
- 道路陥没や土砂崩れ等による交通インフラの遮断
- 避難所への物資輸送の停滞 など

4つの柱で「攻めの防災」の取組を更に加速します

区では、密集住宅市街地整備促進事業をはじめとする「防災まちづくり事業」や「避難行動要支援者対策」など、ハード・ソフトの両面から、様々な災害予防対策「攻めの防災」を展開してきました。

区民の命を守るため、全庁を挙げて「攻めの防災」を更に強化し、加速します。

①木造住宅密集地域での火災延焼を防ぐ！

○密集住宅市街地整備促進事業の着実な推進

- ・桜台東部地区では避難や消火・救援活動に必要な防災道路の整備に向けた取組を推進
- ・貫井・富士見台地区では四商通り・主要生活道路1号線等の用地取得を推進

○感震ブレーカーの無償貸与を開始

- ・防災まちづくり事業実施地区の木造住宅や避難行動要支援者へ無償貸与・取付支援

○街頭への消火用スタンドパイプ新設

- ・区立施設やコンビニなどの街頭に設置



▲訓練の際に消火栓に差し込んだスタンドパイプ



②建築物を倒壊させない！

○新耐震木造住宅への耐震助成を新設

- ・2000年基準を満たさない木造住宅の耐震化を促進

○防災まちづくり事業実施地区での旧耐震基準の住宅助成の拡充（耐震改修工事等）

- ・桜台東部、貫井・富士見台地区をはじめとするエリアでの耐震化を更に促進



③避難・物資輸送経路を確保！

○防災まちづくり事業実施地区内の危険なブロック塀等撤去の助成拡充

○一般緊急輸送道路沿道建築物の耐震化促進を加速するための工事助成の拡充

○地域輸送道路沿道建築物の耐震化促進策のための調査、検討

○防災道路整備の着実な推進

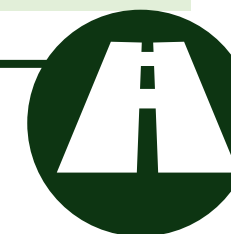
- ・密集事業実施地区での未着手路線の着実な整備を推進



整備前



整備後



④避難所の備蓄物資を充実！

○口腔ケア用品、ボディシートなどの衛生用品を新たに備蓄

○避難者用の携帯トイレを増量

○アレルギー対応食の備蓄を充実

○防災備蓄倉庫を2か所増設

